



身近で普通種ながら謎の多い魚。均整の取れたきれいな体形。北潟湖産 全長:28cm

コイ科 フナ属

【全長】 30cm

## ギンブナ

学名: *Carassius sp.*

分布域

日本全国に分布する。

生息域

河川中流～下流域や湖沼・池  
・水路などに広く生息する。



各ヒレは透明で明るく、吻はやや尖がる。

体高は比較的高く、体色は銀白色で背面側がオリーブ色を帯びる。鱗の外縁は淡色。腹面側の外縁部は直線的で尻鰭の基点付近から急激に細くなる。各鰭は透明。食性は雑食性で、底生動物や付着藻類を食べる。産卵期は4～6月。水草や抽水植物などに粘着卵を産み付ける。本種はメスばかりでオスがいない。産卵された卵はウグイやコイ・ドジョウなど、別種の精子に誘発され発生(分裂)を開始し、メスの遺伝形態だけを受け継ぐという珍しい生殖方法(雌性発生)をとるとされる。

水槽での飼育は可能。丈夫で飼育し易い。餌は配合飼料に慣れる。性格も温和で他種との混泳も特に問題はない。

在来種

移入種

純淡水魚

※ フナ類はギンブナの他、キンブナ・オオキンブナ・ニゴロブナ・ナガフナなどが知られるが、その特徴の中間的特徴を示すものも多くその分類は非常に難しい。